

**第7次地域保健医療計画の  
令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画**

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・各団体)



第7次地域保健医療計画の令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画調査票

1 脳卒中医療

（目標）

- ・ 予防・早期発見重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
- ・ 脳卒中の予後改善を図るため、プレホスピタル・ケア（病院前救護）、急性期医療から回復期、生活期（維持期）までの医療連携体制の構築を推進します。
- ・ 患者が病期に応じ、適切な治療やケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。
- ・ 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」（以下「とねっと」という。）利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供、正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○各医療機関から患者様に丁寧な情報提供を行うように努める。	理事
		行田市医師会	情報提供している	市報やパンフレットにより脳ドックの情報提供。	会長
		埼玉葛歯科医師会	○左記のとおり実施	○地域連携病院との関係強化	
		行田総合病院	○ホームページや病院広報紙、地域連携だよりなどで住民向けに脳卒中に対する情報提供をおこなった。	○ホームページや病院広報紙、地域連携だよりなどで情報提供をする。	地域医療連携室
		羽生総合病院	○医療講演は感染症下にて縮小傾向であった。 ○定期発行している広報誌にて案内を行った。 ○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク基幹型病院を目指し調整を進められた。	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク基幹型病院となり救急受入れ体制を強化できた。 定期発行している広報誌・又電子媒体を有効活用し情報発信を行っていく事が出来た。	広報委員会 情報室 関係職員
		新久喜総合病院	○新型コロナ禍にて病診連携の会、救急症例検討会、健康教室未開催。	○新型コロナ感染の5類移行に伴い病診連携の会、救急症例検討会、健康教室を順次再開する	地域医療課
		済生会加須病院	○地域医療機関に向けて勉強会を実施した。 ○脳卒中ホットラインを活用した救急隊との連携を実施した。	○地域医療機関との連携強化と症例検討会や市民講座を開催する。 ○広報誌やホームページ上での情報提供を実施する。	地域連携課
		国立病院機構東埼玉病院	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、運動指導等の啓発を行う。	リハビリテーション科・地域医療連携室
		蓮田病院	施設や診療医との情報共有や連絡は出来たが、ホームページの掲載は脳外常勤がおらず未実施	病状や症状に対しての情報をディスプレイに掲載を続ける	地域医療連携室
堀中病院	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減			

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供、正しい知識の普及啓発	東埼玉総合病院	○ホームページや広報資料などでSSN基幹病院である事などの情報を提供した。 ○「地域連携の会」は、新型コロナウイルス蔓延防止のため開催を中止したが、営業先の医療機関へ対面で脳神経外科の診療機能について情報提供した。 ○脳卒中をテーマにした医療講演会は新型コロナウイルス蔓延防止のため開催を中止した。	○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。 ○「地域連携の会」を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施する。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○ホームページや診療案内を更新し、地域医療機関や施設への発信を行った。 ○診療案内の更新し、地域医療機関や施設へ配信した。	○病院広報誌等にて地域住民へ脳卒中に対する啓蒙活動を行う。 ○管理栄養士が患家を訪問し栄養情報提供加算に規定する特別食以外に脳血管疾患予防に対する栄養指導を行う。	地域・医療連携部
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	頭痛外来受診者に対してスクリーニング検査や啓発を行う。健康管理センター受診者に対してリスク評価や受診勧奨を行う。	○市内3病院において脳ドックを実施 ○市内2病院で急性期の治療を行っているが今後は回復病床の充実が望まれる。	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診26,428件を実施した。	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定。	会長
		幸手薬剤師会	健康福祉まつりはコロナ禍で中止のため会員薬局において高血圧予防を啓発	会員薬局において生活習慣指導の実施	会長
		行田中央総合病院	○特定保健指導 動機づけ支援 26件 積極的支援 22件 ○脳ドック 345件 画像診断等リスク評価や受診勧奨を行う ○頭痛外来 7名 画像診断等リスク評価や生活指導・受診勧奨を行う ○栄養指導 入院 347件 外来 422件 計769件	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○脳ドックの実施 ○頭痛外来の実施 ○栄養指導の推進	健康管理センター 栄養科
		行田総合病院	○脳ドック、LOXIndex検診、頭痛外来を継続実施し、広報にてこれらの受診の啓発をおこなった。 ○外来にて高血圧の方への栄養指導を実施した。	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	健診担当 栄養科
		羽生総合病院	○企業検診により2次精査へ繋げ、早期発見に貢献することができた。 ○広報誌などの発刊などを行い概ね実施できた。	・健診結果から二次精査に繋がるように結果案内等を進めていくことができた。 ・保健指導の場などで2次精査への案内が出来た。	健康 管理センター
		新久喜総合病院	○単独脳ドックの推進(MRI検査・頸部超音波検査) ○広報誌による啓蒙活動	○単独脳ドックの推進(MRI検査・頸部超音波検査) ○広報誌による啓蒙活動	健康管理センター 地域医療課
		済生会加須病院	○脳ドックを火・金に実施した。 ○加須市国保ドックに、基本ドック+脳MRI+Aコースを新設した。 ○脳卒中リスクを高める高血圧・脂質異常・糖尿病・心臓病・腎臓病など生活習慣病を対象とした保健指導を実施した。	○脳ドックの実施(月～金) ○特定保健指導の実施 ○広報誌を通じての、市民への健康診断・特定保健指導の必要性啓蒙活動	健診センター
蓮田病院	広報活動を行い脳ドックを推進 院内ディスプレイ、契約機関等への勧奨 実績(MRI/A)132人(前年+50人)	後方活動を行い脳ドックの推進	検診センター		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	東埼玉総合病院	○令和4年度は、新型コロナウイルス蔓延防止のため開催を中止した。	○予防重視の観点から、市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。 ※新型コロナウイルス蔓延防止のため開催未定。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨 ○脳ドックの午後の時間帯の予約枠の増設	○健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨 ○脳ドックの推進	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○学術講演会、地域医療セミナー等を通じて顔の見える連携体制の強化を計る。 ○「とねっとカード」を救急時に活用し脳卒中急性期の治療開始の時間短縮を計る。	理事
		行田市医師会	参加している	行田総合病院が参加。	会長
		行田総合病院	○令和3年11月に埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）の基幹病院として指定を受け、地域の医師向けに脳神経外科ホットラインの電話番号を案内するとともに、消防署へも体制を広報し、救急や近隣病院からの患者受け入れを行った。  ○夜間のtPAや血栓回収を行った。	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）への基幹病院として医療機関と消防機関との連携を促進する。  ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会に参加する	救急部門 医師
		中田病院	○医療機関主催のリモート連携会議へ出席	○連携等のリモート情報交換会への参加	地域医療連携室
		羽生総合病院	○概ね計画通り実行できた。	・救急受け入れを積極的に行い、地域の方へ救急受け入れ体制の強化、脳神経外科の診療科内の充実を院内部署にて連携して充実を図れた。 ・埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク基幹型病院となった。	救急委員会 救急部門 総務課
		新久喜総合病院	○コロナ禍にて病診連携の会や救急隊との症例検討会における意見交換未実施。 ○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）に基幹病院として参加	○新型コロナ感染の5類移行に伴い病診連携の会、救急症例検討会、健康教室を順次再開しSSNへの当院の取り組みを周知	地域医療課
		済生会加須病院	○埼玉県の急性期脳梗塞治療ネットワークに引き続き参加し、一次脳卒中センターとしての役割を果たした。	○一次脳卒中センターコア施設に申請し、脳卒中に関して地域の中心を担う。	診療統括部
		蓮田病院	脳外医師不在のため実施出来ず。また脳卒中パスの研修会開催の知らせがないため参加出来ず	病病間連携での勉強会・研修会のお知らせを院内に知らせ参加してもらうよう促す	地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会（Web開催）に社会福祉士が参加した。 ○年間72件の脳卒中地域連携パスを運用した。	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に参加 ○脳卒中地域連携パスの運用継続 ○PSC申請施設 医療ソーシャルワーカー（MSW）連携の会に参加	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○埼玉県脳卒中地域連携研究会 ※コロナ禍のため中止となり不参加	○埼玉県脳卒中地域連携研究会への参加 ○救急隊との症例検討・意見交換を目的にした会を開催 ○SSN参加医療機関との日頃からの連携強化	地域・医療連携部

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	患者を支える多職 種連携体制の構築	行田市医師会	行田市医師会在宅医療介護連携支援センターを中心に医介連携を進め、入退院調整シートを作成し有床医療機関に啓発。脳梗塞患者の療養をテーマに会員を含む多職種で動画を作成し研修・普及啓発を行い埼玉県医学会総会で発表。	入退院調整を継続。更に普及啓発・研修・ICT／情報共有作業部会に会員が参画し医師会主導で患者を支える連携体制を構築。会員参加による作成動画を活用したMCSの研修予定。	
		行田中央総合病院	併設された行田市医師会在宅医療介護連携支援センターで脳卒中の入院から施設・在宅まで、患者を支える多職種連携体制を構築。 年間相談件数R5/479件	併設された行田市医師会在宅医療介護連携支援センターで脳卒中の入院から施設・在宅まで、患者を支える多職種連携体制を充実	
		行田総合病院	○脳卒中地域連携パスの活用	○脳卒中地域連携パスの活用	地域医療連携室
		白岡中央総合病院	○脳卒中連携パス実績 13件	○脳卒中連携パスの活用	地域・医療連携部
		羽生市薬剤師会	在宅緩和ケア地域連携ミーティングへの参加。 「北埼玉在宅医療・介護連携のマナー」の改訂に関する検討会議への参加。	ケアマネージャーとの合同勉強会。 MCS未加入薬局へのMCS参加の呼びかけの継続。	会長

第7次地域保健医療計画の令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画調査票

2 糖尿病医療

（目標）

- ・ 特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病予防に努めます。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策を推進します。
- ・ 早期診断された患者の合併症予防のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の管理栄養士等のスキルアップと指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	各医療機関で協議、協力している 勿論指導にも協力	各医療機関で特定健診に協力している。 今年度より特定保健指導にも協力している。	会長
		埼玉歯科医師会	○左記のとおり実施	○特定健診の充実を図る。	
		幸手薬剤師会	特定健診受診勧奨	特定健診受診勧奨	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	健康相談等を介し、食事・運動療法に関する啓発活動	食事・運動療法に関する啓発活動を行う。	
		行田中央総合 病院	○特定健診 1,619件 ○特定保健指導 48件 動機づけ支援 26件 積極的支援 22件 ○栄養指導 469件 入院 347件 外来 422件	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○栄養指導の推進	健康管理 センター 栄養科
		行田総合病院	○特定健診の受入を行い、糖尿病治療が必要な方に対してかかりつけ医や当院での外来受診を促した。  ○広報誌やホームページで特定健診の案内を行った。  ○管理栄養士による栄養指導を行った。	○特定健診受入体制の充実を図る ○特定健診に対する病院広報誌での情報提供	健診担当 広報 栄養科
		中田病院	○特定健診 502人 ○産業界活動 9社	○特定健診の受診勧奨 ○産業界による訪問・指導	健康推進課
		羽生総合病院	○院外医療講演に関してはコロナ禍の影響で延期・中止であったが、その他に関しては概ね実施出来た。	・情報発信を行い関心を促し受診へ導く。 ・早期発見の重要性を案内し、特定健診（成人病健診も含む）へ繋がるように医療相談を積極的に開催していく。	健康管理 センター
		新久喜総合病院	○前年対比保健指導の件数増加 ○特定健診の休日（土曜日）の実施	○保健指導件数の前年度比増 ○特定健診の休日実施継続	健康管理センター
		済生会加須病院	○特定健診や生活習慣病予防健診の受診者については、保健師がメタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、必要に応じて受診勧奨や保健指導を勧めた。 可能な限り、当日の階層化、初回面談を実施した。 ○掲示物・模型などを用いて、生活習慣などに関する注意喚起を行なっ	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、糖尿病だけでなく、メタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、常駐する健診センター医師や保健師から詳細な説明と二次検診の必要性について案内する。 ○特定保健指導（積極的・動機づけ支援）の実施	健診センター
		新井病院	○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供 ○市民祭りにて特定健診・人間ドックの情報提供	○市民講座にて特定健診受診の啓発活動 ○市民祭りにて特定健診につながる情報提供の案内 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	看護部 総務

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	蓮田病院	院内ディスプレイにて特定健診の推進 実績 市の特定健診706人、社保特定健診280人	後方活動を行い特定健診の受診推進	検診センター
		栗橋病院	○外来待合に特定健診受診案内の掲示 ○かかりつけ患者受診時に特定健診受診指導	○外来待合に特定健診受診案内の掲示 ○かかりつけ患者受診時に特定健診受診指導	医局 事務部
		堀中病院	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○特定健診の受診推奨 ○特定健診の受け入れ強化	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○特定健診の受診推奨 ○特定健診の受け入れ強化	
		東埼玉総合病院	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムのさらなる充実に努めた ○かかりつけ医と専門医等との連携強化を図った ○二次保健医療圏内の腎臓内科医との連携による重症化予防の推進を行った ○ハイリスク者への受診勧奨・治療中断の防止を行った ○オンライン診療による診療の効率化（通院困難者への対応）を行った ○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進を行った	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムのさらなる充実 ○かかりつけ医と専門医等との連携強化 ○二次保健医療圏内の腎臓内科医との連携による重症化予防の推進 ○ハイリスク者への受診勧奨・治療中断の防止 ○オンライン診療による診療の効率化（通院困難者への対応） ○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病性腎症重症化予防研究会の実施	地域糖尿病センター
		白岡中央総合病院	○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病看護認定看護師による無料相談	○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病看護認定看護師による無料相談	健康管理課
	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○埼玉県の糖尿病重症化対策事業に協力すると共に、協会けんぽの同事業にも協力する。	理事
		行田市医師会	薬剤師会との連携により市内12か所の薬局でHbA1c測定し異常者の受け入れ	各医療機関が協力。	会長
		羽生市 歯科医師会	○糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示 ○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	○糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示 ○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	会長
		幸手薬剤師会	埼玉県糖尿病性腎症重症化予防支援事業参加	会員薬局において地域住民への糖尿病性腎症重症化予防の啓蒙活動	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	DM性腎症重症化予防事業への参加	薬局における継続支援（フォローアップ）の実施 研修に参加	
		羽生市薬剤師会	○熊谷薬剤師会のオンライン研修会参加	○新規糖尿病薬の研修会参加	理事
		行田市薬剤師会	令和3年度は156名測定し、15名を受診勧奨しました。	引き続き行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会の協力連携のもと、会員12薬局で検体測定室を実施。必要な方に受診勧告し適切な医療を受けていただくようお願いして、重症化を予防する。	
		行田中央総合病院	○糖尿病透析予防プログラムの拡充を図る ○薬剤師会との連携により市内12か所の薬局でHbA1c測定し異常者の受け入れ	○糖尿病透析予防プログラムの拡充 ○薬剤師会との連携により市内12か所の薬局でHbA1c測定し異常者の受け入れ	外来他
		羽生総合病院	○院内・院外医療講演に関してはコロナ禍にて中止であったが、栄養指導に関しては概ね実施できた。	・栄養指導を積極的に行うことができた。	広報広告委員会・栄養科
		新久喜総合病院	○健康教室等における地域住民への啓蒙を予定していたがコロナ禍にて未実施。 ○糖尿病性腎症重症化要望対策事業への行政（久喜市）との連携により保健師の介入実施	○新型コロナウイルスの5類移行に伴い病診連携の会、救急症例検討会、健康教室を順次再開し啓蒙する。 ○糖尿病性腎症重症化要望対策事業への行政（久喜市）との連携	健康管理センター 地域医療課
		済生会加須病院	○生活習慣病重症化予防対策事業において、保健指導対象者の選定に協力している。	○健診や外来にて蛋白尿を指標にして糖尿病性腎症の拾い上げを積極的に実施する。腎臓内科と協力して、腎臓内科受診を勧奨する。	診療統括部



実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	蓮田病院	健康診断にて有所見者の方に対して 外来受診勧奨、小冊子配布  多職種連携の強化の実施	健康診断にて有所見者に対しての外来受診勧奨  入院時糖尿病を有する患者への食事指導推進及び資料の配付 院内ポスターによる啓発 多職種連携の強化	検診センター 栄養科
		白岡中央総合病院	○広報誌掲載へ向けての体制作りを行うとともに、看護外来や教育入院時に、療養指導等を行った。	○広報誌等への掲載を行い、啓蒙活動を行う。 ○看護外来や教育入院時に、療養指導等を行う。	看護部 (糖尿病認定看護師)
		栗橋病院	○生活習慣病重症化予防対策事業に該当する患者に対する事業説明の実施		医局・事務部
	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	薬剤師会との連携により市内12か所の薬局でHbA1c測定し異常者の受け入れ	各医療機関が協力。	会長
		行田中央総合病院	○院内イベント世界糖尿病デイにおいてPR活動 ○糖尿病透析予防プログラムの充実を図る	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○糖尿病患者会「はらペコ倶楽部」の実施	関係各部署
		中田病院	○専門医と糖尿病療養指導士・管理栄養士が中心となり患者指導を実施 ○教育入院の受け入れ	○糖尿病患者への入院中から退院時における指導の充実（栄養・予防） ○多職種でのチームカンファレンスの実施 ○糖尿病教育入院	医師・栄養士・看護科
		羽生総合病院	○医療講演はコロナ禍にて中止となった ○患者待合室などにポスターを掲示し発信を概ね実行できた。	○糖尿病教育入院の実施、個別に栄養指導を実施。 ○予備軍などで指導が必要な方で栄養指導を受けていない方等へ情報発信を行うことができた（内科系）	栄養科
		済生会加須病院	○外来等において糖尿病患者教育プログラムの定期的な啓発活動を行っている。	○外来及び病棟において、定期的な患者啓発活動を行う。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催 ○糖尿病教室の開催	多職種
		国立病院機構東埼玉病院	○入院患者に対しての栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施した。	○入院患者に対しての栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施する。	機能回復部門 (栄養管理室)
		蓮田病院	入院時糖尿病を有する患者への食事指導推進及び資料の配付実施	入院時糖尿病を有する患者への食事指導推進及び資料の配付の継続	栄養科
		東埼玉総合病院	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 実施 ・フットケア外来 実施 ・透析予防プログラム 実施 ・治療中断予防プログラム 実施 ・生活習慣病予防祭りの開催 未開催 ・糖尿病栄養指導（個人）実施	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実を図る ・糖尿病教育入院 ・フットケア外来 ・透析予防プログラム ・治療中断予防プログラム ・生活習慣病予防祭りの開催 ・糖尿病栄養指導（個人）	地域糖尿病センター
		白岡中央総合病院	○看護外来 52件 ○糖尿病教育入院 3件	○看護外来を継続し、糖尿病患者やその家族の支援を行う。 ○糖尿病教育入院パスの活用	看護部 (糖尿病認定看護師)

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	「とねっと」の 推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○「とねっと」の更なる普及に邁進する。	理事
		埼玉葛歯科医師会	○左記のとおり実施	○「とねっと」の普及と活用の周知を徹底する。	
		北埼玉 歯科医師会	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	会員
		加須市 歯科医師会	○とねっと推進協議会への参加	○とねっと推進協議会への参加	会長
		羽生市 歯科医師会	○「とねっと」説明会への参加 ○「とねっと」作業部会に部員を派遣 ○「とねっと」へ会員入会の促進	○「とねっと」説明会への参加 ○「とねっと」作業部会に部員を派遣 ○「とねっと」へ会員入会の促進	会長
		幸手薬剤師会	「とねっと」の普及と加入推進	「とねっと」の普及と参加への促進	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	「とねっと」への参加・普及活動	「とねっと」への登録・普及活動	
		行田総合病院	○とねっとに参加して、当院での検体検査結果データの共有を継続実施した。		地域医療連携室
		中田病院	○「とねっと」への参加 ○院内掲示にて啓発	○登録への啓発活動	
		羽生総合病院	○院内にとねっとの情報を掲示し、患者さんへ情報発信を行なった。	○院内における掲示物で啓発活動を行う。 ○院内のイベントにてとねっとに関して問い合わせがあった際に答えらるるようによりスタッフ配置をした。	医事課
		新久喜総合病院	○ポスター等掲示による患者への啓蒙活動 ○ドック受診者、外来患者への加入推奨 ○職員への周知活動		健康管理センター 地域医療課
		済生会加須病院	○ポスターによる普及啓発活動の実施。	令和6年度に予定されているとねっとの廃止に伴い、閉館する加須市医療診断センターの画像診断業務を引き継ぎ、地域医療機関からの紹介患者の受け入れを進めている。	地域連携課
		国立病院機構 東埼玉病院	○協議会主催の総会・各種部会への参加を果たすと同時に、同会議等に出席の各医療機関等と情報交換を行った。	○連携する医療機関と定期的な情報交換会の参加等の実施	経営企画室
		蓮田病院	ワーキンググループへの参加。次年度はとねっと解散。		地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○引き続き病院・診療所・歯科・調剤薬局との連携の拡充に努めた ○引き続き人間ドック受診時にとねっと案内マニュアルの配布等を行い自己健康管理の推奨に努めた ○コロナ禍の為、未実施となった。	○“とねっと”活用による病院・診療所・歯科・調剤薬局との連携拡充 ○“とねっと”糖尿病（循環型）連携パスによる糖尿病重症化予防 ○「“とねっと”健康記録」活用による自己の健康管理の推奨 ○“とねっと”への紐付け件数の向上 ○“とねっと”の利活用・理解促進のリーフレット作成・配布・啓発活動 ○“とねっと”加入促進（普及啓発）キャンペーン等の実施	地域糖尿病 センター
栗橋病院	○とねっとの使用方法・登録方法院内研修（一部の部署）の実施	○とねっとを利用した患者サービスの向上に努める。	事務部		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職のスキル アップ	北埼玉医師会	当医師会主催の講演会を通じ医師会員のスキルアップに貢献した。	○当医師会主催の学術講演会等を通じ会員の糖尿病治療のスキルアップを計る。	理事
		行田市医師会	健康づくり課と協議を行いナッジ理論など保健指導等へのアドバイスをおこなった	○健康づくり課での特定保健指導についてアドバイスを行う。	会長
		北埼玉 歯科医師会	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	会員
		幸手薬剤師会	糖尿病関連講習会への参加	糖尿病治療及び関連医薬品講習会への参加	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	講習会への参加	糖尿病治療に関する講習会への参加	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病治療と医薬品オンライン勉強会の実施	○糖尿病治療と医薬品講習会の開催	理事
		行田中央総合 病院	○糖尿病療養指導士を中心に研修会に参加	○各種研修会、講習会への職員の参加促進	診療部 看護部 技術部
		中田病院	○各研修会へ参加。年1回の院内伝達講習実施（COVID-19にて中止）	○糖尿病に関する研修会への参加、未参加職員への伝達講習実施	
		羽生総合病院	○e-learningを活用し勉強会の開催できた	・職員を対象とした勉強会を開催できた。 ・コロナ禍が収束し院外の勉強会へ関係職員を積極的に参加出来るようになった。	各部署
		新久喜総合病院	○昨年度関連研修会への参加実績なし	○関連研修会への参加（WEB参加含む）	健康管理センター
		済生会加須病院	○糖尿病に関する専門性を高めるための研修を実施した。	○院内研修として糖尿病に関わる勉強会を実施する。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育をテーマとした看護協会の研修に参加	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会の参加及び専門研修会に参加し、質の向上を図る	多職種
		蓮田病院	周辺地域対象の糖尿病多職種参加研修開催 研修参加	研修参加開催の継続	看護部 栄養科
白岡中央総合 病院	○院内研修会 4回/年開催 ○糖尿病療養支援チームでの情報共有を行い、質の向上に努めた。	○糖尿病治療・看護に関する院内研修の開催を行い職員のスキルアップを図る。 ○学会・研修会へ参加し、最新情報を糖尿病療養支援チームで共有し、質の向上に努める。	看護部 (糖尿病認定 看護師)		

第7次地域保健医療計画の令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画調査票

3 在宅医療の推進

（目標）

- ・ 患者が安心して在宅医療を受けられるように、包括的かつ継続的な医療提供体制を推進します。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護職員など医療と介護の多職種が連携したチームで、患者・家族をサポートする体制を推進します。
- ・ ICTを活用して医療・介護に関する様々な情報を医師、看護師、介護職員など医療と介護の各職種間で共有し、安心・安全なサービスを効率的に提供します。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○引き続き加須市・羽生市から事業委託を受け、北埼玉医師会立北埼玉在宅医療連携室（平成30年度から受けている）が在宅医療・介護連携する業務を実施する。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	在宅医療拠点から行田市在宅医療介護連携支援センターへと組織を改編し、在宅療養支援病院と4医療機関で強化型支援診療所を形成し、連携カンファレンスを月一回開催しながら二人主治医制を進め切れ目のない在宅医療を提供。 ICT事務局機能を充実させ連携体制を推進	○在宅医療拠点を行田中央総合病院に依頼し、同病院を核として連携医療機関が在宅医療を行う。 ○月1回在宅連携医療機関が医師会館で情報交換会を行う。	会長
		南埼玉郡市医師会	○平成30年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、医師会事務局と蓮田市内の奏診療所に相談窓口を設置するなど、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行った。 また、在宅関連多職種を対象とする在宅医療研究会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、開催中止とした。	○平成30年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、医師会事務局と蓮田市内の奏診療所に相談窓口を設置するなど、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行う。 また、在宅医療研究会を開催予定。	会長
		北葛北部医師会	○地域の医療介護資源把握等のためのアクトリチの実施 ○在宅医療・介護マップの情報更新 ○地域の情報収集（アンケート調査） ○カフェ（オンライン開催）（5回実施、参加者延157名） ○地域包括ケア会議（11回開催、参加者延133名） ○在宅医療カフェ（事例検討）の実施 ○ICTシステム活用における情報共有と運用（キャラバン活動によるICT使い方周知等普及活動 訪問活動延66件） ○市民の集い（1回開催） ○暮らしの保健室（地域住民主体のサロン等）の活動（開催246日、相談件数896件、参加者2,152名） ○地域まるごと電話相談の実施 ○みんなのカフェ（12回実施、参加者延129名） ○住民主催の地域ケア会議（3回実施、参加者延76名） ○住民へのパンフレットの発行 ○在宅医療・介護連携推進会議への協力（年2回参加）	○地域の医療・介護の資源の把握 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ○在宅医療・介護連携に関する相談支援 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携	地域ケア拠点推進室
		埼葛歯科医師会	○左記のとおり実施	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	
		行田市 歯科医師会	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○在宅医療、介護連携推進委員会への参加	○在宅医療、介護連携推進委員会への参加	会長
		幸手薬剤師会	在宅医療・介護連携推進協議会への参加	在宅医療・介護連携推進協議会及び講習会への参加	会長

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	杉戸・宮代 薬剤師会	多職種連携会議（ケアカフェ）に参加	在宅医療・介護連携推進に関する会議、研修会への参加	
		行田市薬剤師会	多職種連携会議（ケアカフェ）に参加	行田市在宅医療・介護連携推進への参加 作業部会（ワーキンググループ）への参加。	
		行田中央総合 病院	○在宅療養支援病院として、連携する5医療機関との連携強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化をおこなった ○訪問看護ステーションとの連携強化を行った ○栄養ケアユニットを併設し栄養面での在宅連携体制を推進	○在宅療養支援病院として、連携する5医療機関との連携強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化 ○訪問看護ステーションとの連携強化 ○栄養ケアユニットを併設し栄養面での在宅連携体制を充実	地域連携室 看護部
		行田総合病院	○在宅医療機関へ定期訪問し、広報誌や連携だよりによる診療体制の情報提供を行った。 ○MSWが早期介入を行い、地域のケアマネへの入院連絡や退院支援時に在宅医療機関とのカンファを実施した。	○在宅機関との定期的な情報交換 ○入院時からの早期退院支援の実施	地域医療連携室 MSW
		中田病院	○MSWIによる在宅退院への支援 ○退院前カンファ実施による、在宅サービス事業者との情報共有を積極的に実施 ○地域の介護事業者との連携の会へ参加	○訪問看護ステーションを中心とした情報交換の促進 ○MSW・退院支援看護師が在宅サービス事業者と入院から退院時まで積極的に情報交換を行う ○各地域連携の会へ参加	訪問看護 ステーション・ 看護部・ リハビリ科・ 地域医療連携室
		羽生総合病院	○概ね実行できた。	・地域医療機関との意見交換、情報共有を行えた。 ・院内で在宅診療に関わる部署間のスムーズな連携が出来た。	在宅支援診療 部・相談室
		新久喜総合病院	○在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネとの意見交換、関係職種によるカンファレンスの実施 ○院内多職種によるカンファレンスの実施	○引き続き外部医療従事者や院内多職種によるカンファレンス実施 ○新型コロナウイルスの5類移行に伴い病診連携の会を順次再開し関係各位との情報交換	地域連携室
		済生会加須病院	概ね計画通り実施した。	○入退院支援センターの専任看護師とMSWが共働し、ケアマネージャーとの連携を密に行う。 ○訪問診療の医師に情報提供し、患者の入院中も連携を取り合うことにより密な連携体制を構築する。	入退院支援課
		国立病院機構 東埼玉病院	○在宅医療サポートセンター事業は令和3年7月1日より南埼玉郡市医師会に移行した。	削除	
		蓮田病院	月5回程度の対面でのカンファレンス施行が出来るようになり介護連会開催	在宅療養に向けての入退院支援、在宅療養生活の支援、急変時の対応、在宅における看取りなど在宅医療を担う医療や介護の関係機関相互の連携強化研修会開催・参加など	地域医療連携室 看護部
		蓮田よつば病院	居宅支援事業所を開設し、同法人内において、認知症治療病棟、重度認知症デイケア、訪問看護ステーションに次いで、より認知症患者様の在宅療養支援の連携体制を強化していく形ですすめた。	○施設への訪問診療や近隣クリニックとの連携を強化する。 ○認知症カフェや認知症予防教室の開催にて認知症予防の取り組みを強化していく。 ○在宅サービスとの連携を強化していくためにも外来機能の取り組み強化を図る。 ○精神科の訪問診療を行う体制整備	経営企画室
		栗橋病院	○地域包括ケア病室の整備を目標に体制構築を模索した。	○退院支援を積極的に行い、医療と介護事業者の連携を強める。	地域医療 連携室

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	東埼玉総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ACP普及啓発の講演会開催</li> <li>○標準的緩和ケアプログラムELNEC-Jの普及</li> <li>○入退院支援エチケット運用に関するアンケート調査の実施</li> <li>○地域包括ケアワーキング 年11回開催 参加者133名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ACP普及啓発</li> <li>○在宅緩和ケアの推進</li> <li>○入退院支援の質向上</li> <li>○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開催</li> </ul>	地域ケア拠点推進室
		白岡中央総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅医療の充実 特養施設（1施設）往診開始</li> <li>○白岡市リハビリ連絡協議会 リモート会議（3回/年）</li> <li>○地域ケア会議 理学療法士（4回/年） 作業療法士（12回/年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅療養支援のための受け入れ病院としての役割の実践</li> <li>○白岡市リハビリ連絡協議会 リモート会議（3回/年）</li> <li>○地域ケア会議 理学療法士（3回/年） 作業療法士（6回/年）</li> </ul>	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	北埼玉医師会	新型コロナウイルス感染拡大により、医療・介護関係者を対象にした研修会はオンラインで行った。	○ACP及び在宅緩和ケアの普及・啓発するための人材育成に関する会議及び研修会を開催する。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	行田市在宅医療介護連携推進協議会の5作業部会に会員が中心となって参画し多職種協働を推進。行田市医師会在宅医療介護連携支援センターを中心に、地域共生社会を視野に障がい・母子を含めて、医師によるアウトリーチ（訪問支援）・専門職による相談支援・ACP支援を計画。	○包括ケアの中心として多職種連携会議及び各種研修会を行う。	会長
		埼玉葛歯科医師会	○左記のとおり	○地域連携病院との連携強化	
		行田市 歯科医師会	・地域ケア会議への参加	・地域ケア会議への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○地域ケア会議への参加	○地域ケア会議への参加・助言	会長
		久喜歯科医師会	在宅医療・介護関係者研修会への参加	在宅医療・介護関係者研修会への参加	会員
		幸手薬剤師会	地域ケア会議への参加	多職種 特にケアマネとの勉強会開催	会長
		行田中央総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行田市医師会の在宅医療支援センターを受託運営。在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を行った</li> <li>○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに医師が参加</li> <li>○多職種連携会議への職員の派遣及び協力をした</li> <li>○在宅における訪問栄養指導の実施をした</li> <li>○「公益財団法人認知症の人と家族の会」の支部として家族支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行田市医師会の在宅連携拠点である在宅医療支援センターの運営を受託し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を実施</li> <li>○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングへの参加</li> <li>○多職種連携会議への職員の派遣及び協力</li> <li>○在宅における訪問栄養指導の実施</li> <li>○「公益財団法人認知症の人と家族の会」の支部として家族支援</li> </ul>	地域連携室等
行田総合病院	○MSWやセラピストが多職種連携会議に参加して意見交換を行い、情報共有を図った。	○多職種連携会議や地域のケアマネ会への参加、協力	地域医療連携室 MSW		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	中田病院	○リハビリ後の退院において、積極的に家屋調査を実施し在宅において、在宅サービス事業者と当院のリハビリスタッフ・MSWが意見を交換した	○多職種による退院前カンファレンスの充実 ○退院後の患者支援のために退院支援看護師の設置 ○在宅での医療不安には訪問看護ステーションが対応する	看護部・リハビリ科・地域医療連携室
		羽生総合病院	概ね計画通り実施した。	訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センター等で連携を行い、医療、介護の枠を超えた患者本位の支援体制を構築する。	在宅支援診療部・相談室
		新久喜総合病院	○患者サポート窓口を設置しがん相談をはじめとした相談窓口にて、MSW・退院支援看護師との退院前カンファレンスによる退院支援を実施	○患者サポート窓口（がん患者支援センター含む）の充実 ○多職種による退院時カンファレンスの実施	地域医療課
		済生会加須病院	○在宅診療が必要な患者さんに対し、病院医師、在宅診療医師、ケアマネージャー、看護師等と退院前にカンファレンスを行った。	○退院後の患者さんの健康管理に向けて、当院及び地域の訪問看護ステーションと在宅診療医との連携を深める。	入退院支援課
		国立病院機構東埼玉病院	○平成30年4月から開始した「雅楽谷の森訪問看護ステーション」においては、開設後、院内多職種との連携を密にするほか、地域への連絡会議等への参加や関係施設への訪問を行う等、地域の中での関係づくりを構築する活動も積極的に行った。	○平成30年度から訪問看護ステーションを開始し、看護師・医師と連携を密にし、病院から在宅への移行または状態変化時の病院の受け入れ態勢を円滑にする。	訪問看護ステーション
		蓮田病院	多職種と連携し患者相談の対応を行った年間99件であった。患者相談室がコロナ検査室になっているため環境整備が行えていない	ACPを普及・啓発し、患者本人が意思決定できる体制の整備 勉強会・研修会参加と行政や介護連会などでの情報共有	地域医療連携室 看護部
		蓮田よつば病院	○認知症初期集中支援事業を蓮田市より委託を受け、実施。 ○病院としての認知症相談窓口を院内地域医療相談室内に設置し、在宅生活での困り事やケア相談の受付 ○院内での家族会の開催	○認知症初期集中支援チームの活動促進。 ○院内における多職種連携カンファを定期的実施し、認知症患者様へのアプローチと結果についての見える化を図る。 ○家族会、認知症カフェや認知症予防教室の継続実施。	地域医療相談室、診療技術室
		東埼玉総合病院	○定期的学習会および交流会「ケアカフェ☆幸せ杉」 年5回開催 参加者157人 ○北葛北部在宅医療介護連携推進協議会運用 年2回開催 ○在宅医療を考える「市民の集い」の開催 令和4年1月29日開催 ○地域丸ごと何でも相談 相談者896人	○定期的学習会および交流会の開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	地域ケア拠点推進室
白岡中央総合病院	○南埼玉郡市入退院支援ルール検討会に参加 ○感染対策に努めながら、ケアマネや地域支援者と共にカンファレンスを行い連携強化に努めることができた。 ○リハビリテーション総合実施計画書での患者・家族との目標の共有。（回復期病棟計画書説明90%） ○入院時カンファレンスにて早期の患者情報の多職種共有（回復期病棟入棟者入院時カンファレンス実施100%） ○動画を使用したご家族へのリハ進捗報告（1回/月） ○訪問リハビリ提供単位1573回（月）	○地域多職種連携を意識した入退院支援ルールの実践 ○リハビリテーション総合実施計画書での患者・家族との目標の共有。（回復期病棟計画書説明90%） ○入院時カンファレンスにて早期の患者情報の多職種共有（回復期病棟入棟者入院時カンファレンス実施100%） ○訪問リハビリ提供単位1604回（月）	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	ICTによる在宅 医療・介護連携 ネットワークシス テムの推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○既に稼働しているMCSを用いた「北彩あんしんリンク」の更なる充実に努める。また新しくバージョンアップした「とねっと」の在宅医療・介護連携への活用にチャレンジする。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	行田市在宅医療介護連携支援センターが、医師の了解のもと医師業務の代行を行い多職種を招待するなど件数を増やすサポートをしている。また会員を含む多職種でMCSをテーマとした動画を作成し、市内の研修に利用するとともに埼玉県医学会総会で発表。	各医療機関でMCSを活用。	会 長
		南埼玉 郡市医師会	○医療介護連携用ソフト「メディカルケアステーション」(MCS)の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図った。	○「メディカルケアステーション」(MCS)の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図る。	会 長
		加須市 歯科医師会	○メディカルケアステーション(MCS)への参加促進	○メディカルケアステーション(MCS)への参加促進	会 長
		羽生市 歯科医師会	○部員の派遣 ○勉強会への参加	○部員の派遣 ○勉強会への参加	会 長
		幸手薬剤師会	MCSへの参加、活用	MCSを引き続き活用し情報の提供及び普及啓発する	会 長
		杉戸・宮代 薬剤師会	「とねっと」「MCS」への参加・活用	MCS(メディカルステーション)を活用し、連携を図る。	
		行田中央総合 病院	○行田市医師会によるMCS(メディカルケアステーション)導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用	○行田市医師会によるMCS(メディカルケアステーション)導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用を進める	診療部 地域連携室他
		行田総合病院	○介護部門へタブレットを配布し、MCSを活用する方々との積極的な活用を促している。	○MCS活用の推進	地域医療連携室 MSW
		中田病院	○MSCの活用 ○とねっとへの登録促進	○北彩あんしんリングへの参加 ○MCS(メディカルケアステーション)を活用し、連携を図る。	訪問看護ステーション・リハビリ科・地域医療 連携室
		羽生総合病院	概ね計画通り実施した。	介護支援専門員を通じて積極的に行えた。	介護部門
		新久喜総合病院	○「とねっとシステム」利用者増加へ向けた啓蒙活動(患者・職員)	○MCS活用の検討	地域医療課
		済生会加須病院	○「とねっと」を活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築している。		
		国立病院機構 東埼玉病院	○メディカルケアステーションを引き続き活用したほか、普及啓発に向け、当院医師による各種会議等への説明を行った。	削除	
		蓮田病院	MSCでのコロナ受け入れ情報とのやりとりは出来たが、在宅患者等での福祉連携はできていない	医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員、介護職員など医療と介護の多職種が互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって、患者・家族をサポートしていく体制を推進。カンファレンスの際、多職種も参加させる	入退院支援室
		蓮田よつば病院	○MCS活用についての検討、協議する。	○引き続き、MCS活用への検討、協議を行う。 ○院内情報共有ネットワークの構築を検討、試行していく。	経営企画室
東埼玉総合病院	○「MCS」運用の浸透 訪問活動 66件 ○「MCS」利用事業所数 95施設 利用者数160人 ○とねっとへの紐づけ	○「MCS」運用の浸透 ○「MCS」利用事業所数と利用者数の加増	地域ケア拠点推 進室		
白岡中央総合 病院	○外部の担当者も含め、MCSでの情報共有をしている。	○MCSを引き続き活用し連携深める。	地域・医療 連携部		



実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の 推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○地域完結型医療の推進には市民の理解が不可欠である。そのためには「とねっと」への更なる加入促進、かかりつけ医を持つこと等を含めて市民に問いかけることを行政と併に推進する。	会 長
		行田市医師会	高機能医療機器共同利用促進・地域包括ケア病棟の情報提供など入退院調整・患者情報共有／ICT利用を推進し急性期・亜急性期・慢性期・在宅医療の切れ目のない医療の推進	歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、介護施設との連携及び病院との病診連携を行う。	会 長
		埼玉歯科医師会	○埼玉地区拠点窓口の活動強化	○埼玉地区拠点窓口の活動強化	
		杉戸・宮代 薬剤師会	地域ケア会議に参加・助言	地域ケア会議に参加・助言	
		行田中央総合 病院	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図った ○行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化を行った ○在宅支援ベッドR5/57件 ○高機能医療機器共同利用促進R5/258件	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る ○行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化 ○高機能医療機器共同利用促進	地域連携室他
		行田総合病院	○近隣医療機関への定期的な訪問を実施して広報物などを用い診療体制の情報共有を図った。 ○逆紹介を推進してかかりつけ医との連携を行った。	○かかりつけ医との連携強化 ○紹介患者の受入及び逆紹介の推進	地域医療連携室 MSW
		羽生総合病院	○概ね実行できた。	・地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行えた。 ・院内で関わる部署間のスムーズな連携を行えた ・地域の医療機関よりの紹介を積極的に受け入れできた。	在宅支援診療 部・相談室
		新久喜総合病院	○新型コロナウイルス感染症患者の積極的受入れ体制継続 ○地域医療機関、介護施設との連携 ○高度医療機器導入や最新技術の導入による設備強化	○5類移行後の新型コロナ及び新たな感染症に対する対応 ○新型コロナ感染の5類移行に伴い病診連携の会を順次再開し地域医療機関、関係各所との連携強化	地域医療課
		済生会加須病院	○3次救急、2次救急の救急搬送数が増加し、在宅医療からの急変時受入を実施した。 ○「加須病院からのお知らせ」を地域医療機関へ毎月配布した。 ○急性期後の療養病院や介護施設への転院調整をスムーズに実施した。	○紹介患者への対応と救急医療の提供という地域医療支援病院としての役割を果たす。 ○地域医療機関へ当院トピックスを適宜チラシなどで情報発信する。	地域連携課
		国立病院機構 東埼玉病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	削除	
		蓮田病院	介護連携指導や退院調整カンファ79件実施	地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携強化に努め地域完結型医療を推進します。 訪問医との連携を強化→営業やカンファレンス等の参加	入退院支援室 看護部
		蓮田よつば病院	○認知症専門病院として、全身状態軽快後の認知症症状による在宅復帰が困難事例についての受け入れを強化し、認知症症状安定後に地域施設や自宅への退院を促進していくことを実践した。	○左記内容の継続的実施。 ○近隣クリニック、急性期病院等からの連携を強化し、認知症患者様のスムーズな地域移行に向けて迅速に対応できるよう調整する。 ○地域ケア会議への積極的な出席。 ○地域住民に対する認知症ケア、認知症予防活動の推進を図る。	地域医療相談 室、診療技術室
		堀中病院	在宅療養支援ベット受け入れ病院としての役割を果たした。	在宅療養支援ベット受け入れ病院としての役割を果たす。	

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の 推進	東埼玉総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の医療機関訪問</li> <li>○住民主催の地域ケア会議の開催 年3回開催 参加者76名</li> <li>○暮らしの保健室 50ヶ所 年246回開催 参加者2,152名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア会議の開催</li> <li>○地域包括ケアのワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡充</li> <li>○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。</li> </ul>	地域ケア拠点推進室
		白岡中央総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域交流会「誤嚥性肺炎と栄養管理について」ZOOMにて開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民公開講座開催を12月に予定</li> </ul>	地域・医療連携部
		栗橋病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中長期的な入院医療に対応できる病院機能を維持し、施設の入所とかかりつけ医療を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中長期的な入院医療に対応できる病院機能を検討・継続、施設の入所とかかりつけ医療を提供できる連携体制を拡充していく。</li> </ul>	医療連携室

第7次地域保健医療計画の令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画調査票

4 健康づくり対策

（目標）

- ・ 栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
- ・ 健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
- ・ ロコモティブシンドロームやサルコペニアの認知度を高め、低栄養や筋力低下の予防を推進します。
- ・ 特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	行田市健康推進食育推進計画策定委員会に参画、運動・心・歯・検診・食をテーマに各団体代表者を招集して作業部会を構成し、市民サークルの創出など医師会主導での健康づくりを推進。市と連携して検診受診率アップのために、生協会員や商工会等と連携した施策を計画	市の関連会議に参加協力。	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診25,371件を実施した。	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定	会長
		埼玉葛歯科医師会	○左記のとおり実施	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	
		行田市歯科医師会	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	会員
		加須市歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯に關する予防や生活習慣の改善について保健指導（予防指導）を行った。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話。	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯に關する予防や生活習慣の改善について保健指導（予防指導）を行う。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話。	
		羽生市歯科医師会	○生活習慣病予防（糖尿病と歯周病の関連性）についての市民対象の講習会に講師を派遣 ○高齢者大学へ講師を派遣	○生活習慣病予防（糖尿病と歯周病の関連性）についての市民対象の講習会に講師を派遣 ○高齢者大学へ講師を派遣	会長
		久喜市歯科医師会	個別成人歯科健診の実施 後期高齢者歯科健診の実施	個別成人歯科健診の実施 後期高齢者歯科健診の実施	会員
		幸手薬剤師会	健康福祉まつりはコロナ禍のため中止	健康福祉まつりへの参加し健康相談及びお薬相談実施 子育て支援まつりへの参加	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	産業祭中止	○杉戸町産業祭における血圧測定 健康相談会を実施	
		行田市薬剤師会	行田市ふれあい福祉健康まつりは、新方コロナウイルス感染拡大のため中止。	行田市ふれあい福祉健康まつりでかかりつけ薬剤師、薬物乱用防止啓発資材、ジェネリック関連資材などを配布する。	
		行田中央総合病院	○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣を行った ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣を行った ○広報誌・病院ブログ等で健康情報を発信 ○認知症カフェを定期開催し各専門職より啓発 ○子宮頸がんワクチンの実施	○院内イベントにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣 ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣 ○認知症カフェを定期開催の実施 ○子宮頸がんワクチンの推進	関係各部署

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	中田病院	○こいのぼりマラソンコンディショニングルームを開催	○健康教室（月1回）の開催による市民への啓発 ○SNSを利用した健康情報発信	
		羽生総合病院	○医療講演はコロナ禍により中止となった ○ポスターや広告を活用し概ね実施できた。	○地域の住民を対象に医療講演を開催し自身の健康について意識付けを行えた。 ○医療機関と連携を図り、健康教育や保健指導といった予防医療を強化できた。	地域連携室
		新久喜総合病院	○巡回健診における地域住民への生活習慣病に対する知識の普及 ○健康教室において啓蒙活動を予定していたが、コロナ禍にて未実施。	○巡回健診を中心とする、健康づくりへの指導強化 ○新型コロナウイルス感染の5類移行に伴い健康教室を順次再開する	健康管理センター
		済生会加須病院	○地域市民主催の講演会へ医師やコメディカルを出前講座として派遣した。 ○市民公開講座は、コロナ禍のため中止とした。	○市民公開講座の開催による生活習慣病予防の普及啓発の実施。 ○市民主催の出前講座への医師等の派遣実施。	地域連携課
		新井病院	○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供 ○市民祭りに参加し生活習慣予防の啓発活動を行う	○地域のイベント（久喜市民祭り参加）に参加し生活習慣予防の啓発活動を行う ○市民講座を開催し、健康に関する正しい知識を習得 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	看護部 総務
		国立病院機構 東埼玉病院	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○看護の日イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○地域住民に対する生活習慣病教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○難病相談支援センター事業及びエイズホットライン事業における各種相談事業や県民及び院内外関係者に対する研修会を開催した。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、生活習慣病予防等の啓発を行う。 ○看護の日イベントとして、地域住民への医療、お薬、栄養相談等を実施する。 ○「難病相談支援センター事業」及び「エイズホットライン事業」等において県との連携を強化するとともに、難病に対する支援体制の整備又は市民、関係者に対して研修会等を行う。	機能回復部門、 看護部、地域医療連携室、難病相談支援室
		蓮田病院	月1回ホームページにて健康セミナーの掲示	ホームページ等を活用した情報提供	診療部 経営企画室
		蓮田病院	月1回ホームページにて健康セミナーの掲示	ホームページ等を活用した情報提供	診療部 経営企画室
		栗橋病院	○院内掲示で啓発活動を実施	○地域イベントへの積極的な参加と、院内掲示で啓発活動を実施	看護部 地域医療連携室 事務部
		白岡中央総合病院	○看護の日イベント開催、実施 ○介護予防教室開催（5回/年） ○認知症カフェ開催（4回/年）	○看護の日、市民公開講座などのイベント実施 ○介護予防教室開催（6回/年） ○認知症カフェ開催（6回/年）	健康管理課 リハビリテーション技術科
		新しらかが病院	○認知症初期集中支援チームの活動 ○認知症カフェは新型コロナウイルス感染対策に注意しながら参加 ○外来や入院患者様、家族の方に対してのインテークに力を入れ、早めの入院支援や退院支援を実施	・認知症カフェ、オレンジ保健室に参加し、地域住民の相談窓口を幅広く構える ・地域のイベントに参加し、認知症予防の啓発活動を行う ・近隣の医療機関と居宅介護支援事業所との情報共有や連携を深めていく	地域連携室
行田市食生活改善推進員協議会	○健康講話と調理実習を通したリーダー研修の実施（8回） ○食改全体研修会の開催（1回）	○健康講話と調理実習を通したリーダー研修の実施（8回） ○田んぼアートに参加 ○食改全体研修会の開催	健康づくり課		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	加須市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員を対象に講話や調理実習を通して生活習慣病予防（特に糖尿病及び高血圧予防）の普及啓発である定例リーダー研修会の実施（4回、延べ79人）。 ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（定例会）の実施（18回、延べ343人）。 ○食生活改善推進員協議会主催の全体研修会の開催（1回、延べ24人）。 ○市集団健診において資料配布やポスター、呼びかけ、モデル展示等を通じて減塩についての普及啓発（北川辺会場5回549人）。	○食生活改善推進員を対象に講話や調理実習を通して生活習慣病予防（特に糖尿病及び高血圧予防）の普及啓発である定例リーダー研修会の実施（4回予定）。 ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（定例会）の実施。 ○食生活改善推進員協議会主催の全体研修会の開催。 ○市集団健診において資料配布やポスター、呼びかけ、モデル展示等を通じて減塩についての普及啓発。 ○食生活改善推進員協議会主催による自主活動の実施。 ○市主催健康まつりでの野菜摂取の推進及び減塩の普及啓発。	いきいき健康長寿課
		羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員の研修（回数：12回、参加延人数：230人） ○団体やイベントにおける食育リーフレットを配布（回数：19回、配布数：569人） ○骨検診受診者へリーフレット配布（回数：2回、配布数：155枚）	○食生活改善推進員の研修 ○団体やイベントにおける食育リーフレットを配布 ○骨検診受診者へリーフレット配布 ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（調理実習）の実施。 ○地産地消を目的としたお米を使った料理教室の開催	健康づくり推進課
		蓮田市食生活改善推進員協議会	○研修会「楽しく歩こう教室」は、新型コロナウイルスの影響で、会員のみで実施。（1回） ○男性のための料理教室は、新型コロナウイルスの影響で、冊子の配布のみで実施。（1回） ○役員会の実施（8回）	○イベント等で減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	健康増進課
		久喜市食生活改善推進員協議会	○市（保健センター）からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の普及・啓発を図った。 ・栄養バランス食講座の開催 ・骨の健康チェックの協力 ・骨粗しょう症予防講座の開催 ・生活習慣病予防講座の開催 ・離乳食教室の試作づくりの支援 ・おやこ料理教室の開催 ・育児中ママのクッキングの開催等 ○市（公民館）や市民団体等からの依頼事業を開催し、食を通しての健康づくりを啓発する。 ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導 ・南公民館事業での料理指導	○市（保健センター）からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の普及・啓発をする。 ・栄養バランス食講座の開催 ・骨の健康チェックの協力 ・骨粗しょう症予防講座の開催 ・生活習慣病予防講座の開催 ・おやこ料理教室の開催 ・育児中ママのクッキングの開催等 ○市（公民館）や市民団体等からの依頼事業を開催し、食を通しての健康づくりを啓発する。 ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導 ・南公民館事業での料理指導	中央保健センター
		幸手市食生活改善推進員協議会	○健康福祉まつりはパネル展示で実施。レシピの配布を行った。 ○米料理教室を実施した。	○健康福祉まつりに関しては試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発	健康増進課
		白岡市食生活改善推進員協議会	○埼玉県米料理教室の実施 会員35名参加 ○低栄養予防や運動機能の維持向上のために、シニアカフェドリルとメニューをテキストとして作成し配布（会員30名参加） ○優しい介護食教室 会員32名参加	○埼玉県産米料理教室の実施（市民対象） ○生涯骨太クッキング教室の実施（市民対象） ○市民健康まつり 児童館 親子対象 塩分量の展示	健康増進課
		宮代町食生活改善推進員協議会	○感染症対策を講じた上で、親子料理教室（参加者5名）、幼児食教室（参加者5名）を実施。 ○生活習慣病予防のための講話およびヘルシーメニューの紹介	○バランスのよい食生活について普及啓発を行う。 ○親子料理教室、幼児食教室の開催。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の紹介を行う。	健康介護課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○埼玉県産コメ料理教室 参加者13名 生涯骨太クッキング 参加者11名 食生活改善を目的とした料理教室 2回 参加者20名	○町民（成人）対象の各種料理教室の開催 食生活改善を目的とした料理教室：5回、埼玉県内産米料理教室：1回、生涯骨太クッキング：1回	健康支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	市内小学校で喫煙防止教育を行う。成人式で喫煙防止講演会を行いスマホによる即日アンケートを行い疫学調査を行う。薬剤師会と連携し市内14薬局による喫煙サポーター薬局を認定活動する。禁煙助成金制度（1万円助成）を制定し禁煙の促進を図る。「空気も美味しいお店」を認定し受動喫煙防止の飲食店の支援を行う。世界禁煙週間に忍城のライトアップを行う。	各学校に講師を派遣し、喫煙予防講話を行う。	会長
		幸手薬剤師会	市内小中高での薬物乱用防止教室での講演	薬物乱用防止活動及び禁煙防止活動の実施	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	市内小中高での薬物乱用防止教室での講演	薬物乱用防止活動を通して喫煙防止活動の実施	
		行田市薬剤師会	行田市ふれあい福祉健康まつりは、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	行田市医師会主催の健康フォーラム、行田市ふれあい福祉健康まつり、鉄剣マラソン会場などで呼気中一酸化炭素レベルを測定し、タバコや電子タバコの害を呼び掛ける。また、その様子を日本禁煙学会学術総会にて発表する予定。	
		羽生市薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じた飲酒喫煙防止教育への講師を派遣 ○会員薬局において禁煙等のチラシの配布を実施	○薬物乱用防止教室を通じた喫煙防止教育への講師を派遣 ○健康福祉まつりでの禁煙啓発活動の実施を予定	
		行田中央総合病院	○院内イベントにおける禁煙ポスター展示を実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、市内イベントでの禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化を図った	○院内イベントにおける禁煙啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、市内イベントでの禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化	関係各部署
		中田病院	○敷地内禁煙の継続	○施設内禁煙の実施	
		羽生総合病院	○敷地内禁煙実施継続 ○医療講演、勉強会はコロナ禍にて中止	医療講演・院内健康講座を開催し、禁煙を促した。 敷地内禁煙を継続し、職員へ禁煙啓蒙活動を行えた。	地域連携室
		新久喜総合病院	○敷地内禁煙及び患者・職員に向けての啓発ポスターの掲示 ○健康教室等における禁煙推進・啓蒙についてはコロナ禍にて未実施。 ○職員に対する勉強会に実施	○敷地内禁煙等ポスター掲示 ○巡回健診時における健康指導時における啓蒙 ○新型コロナウイルス感染の5類移行に伴い健康教室を順次再開する ○職員健康診断時の喫煙状況に調査及び喫煙者を対象とした禁煙の啓	健康管理センター
		済生会加須病院	○敷地内禁煙及び禁煙に関する院内掲示を継続。 ○喫煙中の患者に対し、禁煙することや禁煙外来を受診するように誘導した。	○敷地内禁煙及び禁煙に関する院内掲示を継続する。 ○喫煙中の患者に対する禁煙推奨。	地域連携課
		国立病院機構東埼玉病院	○禁煙外来については、薬剤の供給停止により休止している。	○外来診療枠に、毎週（木曜午後／予約制）禁煙外来を設け、受診希望の患者の禁煙指導を行う。	呼吸器疾患部門
		蓮田病院	敷地内全面禁煙の継続 禁煙外来の継続	敷地内全面禁煙の継続 禁煙外来の継続	経営企画室
		蓮田よつば病院	○敷地内禁煙の継続	○施設内禁煙の実施	
堀中病院	○敷地内禁煙の継続 ○産業医による面談等	○敷地内禁煙の継続 ○産業医による面談等			
白岡中央総合病院	○禁煙外来の継続 ○敷地内禁煙の継続 ○職員への禁煙の推奨	○禁煙外来の継続 ○敷地内禁煙の継続 ○産業医活動において（禁煙についての啓蒙）	経営企画課 健康管理課		
栗橋病院	○敷地内全面禁煙の継続 ○健康診断実施時等における禁煙指導の実施	○敷地内全面禁煙の継続 ○健康診断実施時等における禁煙指導の継続	事務部・医局		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織などと連携した健康増進計画の推進	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○地域産業保健センターの運営主体として、埼玉県産業保健総合支援センターの指導のもと、加須市、羽生市の従業員50人未満の事業所の労働者の健康増進、保健向上のための各種事業を行う。窓口健康相談会、サテライト健康相談、事業場訪問、面接指導、説明会、健康講話等。	理事
		行田市医師会	敷地内禁煙希望する企業・団体に講師を派遣し支援する	産業保健センターを通して中小企業の健診を進め、また、その結果について相談を受ける。	会長
		行田市 歯科医師会	○企業歯周病検診の実施	○企業歯周病検診の実施	
		行田総合病院	○産業医となっている企業や依頼を受けた企業に訪問して健康指導を実施した。	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導を実施	地域医療連携室
		中田病院	○出張健診 21社 3633人実施 ○産業医として9社へ訪問	○産業医による訪問指導 ○出張健診（企業）の実施と二次健診受診への啓発	健康推進課
		羽生総合病院	○概ね実施できた。	産業医による定期訪問による指導ができた。 特定健診や企業検診による2次精査の啓発活動が行えた。	健康 管理センター 地域連携室
		新久喜総合病院	○コロナ禍にて地域サロン等へ訪問しての健康教室は未実施 ○地域企業へのドック推奨活動	○新型コロナウイルスの5類移行に伴い地域サロン等を訪問しての健康教室を順次再開する ○企業などへのドック受診の必要性の啓蒙継続	地域医療課
		済生会加須病院	○パネル・ポスターによる普及啓発活動の実施。	○近隣の自治体が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを設置するなど、定期的に健康増進のための働きかけを行う。	看護部
		新井病院	○公共機関、民間企業の産業医として健康相談及び指導	○医師を企業に派遣し、健康増進のための講演指導を行う	医局
		蓮田病院	企業健診の実施 蓮田市、久喜市、白岡市の人間ドック助成制度活用	特定健診、企業健診の強化 ワクチン接種への協力	検診センター
		栗橋病院	○企業健診の実施 ○産業医活動の実施：休職復帰指導などを行った。	○健診事業の拡充を目指す。 ○産業医による保健指導の実施強化	看護部 事務部
		白岡中央総合 病院	○産業医活動（健診有所見者への受診勧奨・ストレスチェック面談・長時間対象者面談／健康相談及び指導） ○白岡市元気はつらつ応援事業 不参加 ○オレンジ保健室事業参加（3回/年）	○産業医活動（健診有所見者への受診勧奨・ストレスチェック面談・メンタルヘルス・長時間対象者面談／健康相談及び指導） ○各種健康診断・人間ドックの受診促進 ○白岡市元気はつらつ応援事業（3回/年） ○オレンジ保健室事業参加（3回/年）	健康管理課 リハビリテーショ ン技術科

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期 発見、早期治療と 的確な保健指導の 推進	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	特定健診、特定保健指導の協力	市の依頼を受け講習会の講師を派遣。	会長
		行田市 歯科医師会	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	
		幸手薬剤師会	市民向け講演実施	会員薬局において生活習慣病資料の配布	会長
		行田中央総合 病院	○特定健診 1,619件 ○特定保健指導 48件 動機づけ支援 26件 積極的支援 22件 ○近隣企業への生活習慣病への資料を送付 ○生活習慣病日曜検診の実施 ○マンモサンデーへの参画	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○近隣企業への生活習慣病への資料を送付 ○生活習慣病日曜検診の実施 ○マンモサンデーへの実施	健康管理 センター
		行田総合病院	○広報誌にて健診案内を掲載し、健康診断の実施を促すことで早期発見とその後のフォローを実施した。 ○ふるさと納税返礼品として脳ドックや健診メニューの導入。	○特定健診や人間ドックの充実	健診 広報
		中田病院	○院内掲示の実施	○特定健診の更なる啓発活動	健康推進課
		羽生総合病院	○医療講演はコロナ禍による影響で中止 ○その他は概ね計画実行する事が出来た	・医療講演にて生活習慣病についての意識付け。 ・各種健診の案内と受診しやすい環境づくりができた。	健康管理 センター
		新久喜総合病院	○巡回健診における地域住民への生活習慣病に対する知識の普及 ○健康教室等における啓蒙活動についてはコロナ禍にて未実施 ○企業のドック受診増	○企業のドック受診の必要性の啓蒙 ○巡回健診を中心とする、健康づくりへの指導強化 ○新型コロナウイルス感染の5類移行に伴い健康教室を順次再開し健診受診の必要性の啓蒙	健康管理センター
		済生会加須病院	生活習慣病に対する個別指導を保健師が実施。 対象者へ電話、郵便、メール等を用いて担当保健師が連絡をとり、指導が継続できるように個別に対応した。	○特定保健指導（積極的・動機づけ支援）の実施 ○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を実施	健診センター
		新井病院	○ホームページ、パンフレット配布、院内サイネージによる健診及びドックの受診等の情報発信	○ホームページ、パンフレット配布、院内サイネージによる健診及びドックの受診等の情報提供	看護部 総務
		蓮田病院	特定保健指導の実施 健康診断にて有所見者の方に対しての受診勧奨 小冊子配布	特定保健指導の実施	検診センター
		栗橋病院	○特定健診の実施	○院内掲示等で啓蒙活動の強化。	看護部 事務部
白岡中央総合 病院	○小児科受診した食生活の見直しが必要な児童および母親に対する栄養指導	○小児科受診した食生活の見直しが必要な児童および母親に対する栄養指導	栄養科		



実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育等の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○北埼玉地区学校保健研究協議会（会長は当医師会会長）を通じ、北埼玉地区約17万人の小・中学校の健康教育（その中でも食育は重要教育）について運営、助言、講話を実施する。また医師会員は学校医の立場でそれぞれの学校保健委員会を通じて食育に関する指導を個々に行う。 ○食物アレルギーのある学童・乳幼児は救急時の対応からも積極的に「とねっと」への加入を勧める。	会 長
		行田市医師会	行田市健康推進食育推進計画策定委員会に参画、運動・心・歯・検診・食をテーマに各団体代表者を招集して作業部会を構成し、市民サークルの創出など医師会主導での健康づくりを推進。学校保健委員会での健康講話	学校医が各校で講話を行う。	会 長
		久喜市 歯科医師会	○久喜市食育健康まつりへの参加 ○学校歯科医による小中高等学校・特別支援学校での講話	○久喜市食育健康まつりへの参加 ○学校歯科医による小中高等学校・特別支援学校での講話	会 員
		行田市 歯科医師会	・学校歯科医師による小中学校講話	・学校歯科医師による小中学校講話	会 員
		行田中央総合病院	○学校保健委員会での健康講話の実施 ○併設の栄養ケアユニット・言語聴覚士・管理栄養士の活動として地域への食育支援	○学校保健委員会での健康講話 ○行田市食支援の会を発足し摂食嚥下予防に関する支援	
		加須市 歯科医師会	○小学校保健委員会で講話。	○小学校保健委員会で講話。	学校歯科医
		羽生市 歯科医師会	○小学校保健委員会で講話	○小学校保健委員会で講話	会 長
		行田市薬剤師会	講演中止。	行田市教育委員会や学校などで、食育の大切さについて働きかける。	会 長
		幸手薬剤師会	市内小中学校保健委員会参加	市内小中学校保健委員会で講和	会 長
		羽生総合病院	○コロナ禍により医療講演は中止 ○広報誌などを活用し概ねその他は実施出来た	・地域の学校にて生徒、保護者、職員を対象に食育についての医療講演を開催する。 ・訪問した際にアンケートを配布し良い点悪い点疑問点等の情報を収集しフィードバックを行っていく。	地域連携室 ・栄養科
		新久喜総合病院	○健康教室等における啓蒙活動についてはコロナ禍にて未実施 ○例年、健康まつり等にて栄養指導を含めた食育推進を実施していたがコロナ禍により未実施	○新型コロナウイルスの5類移行に伴い健康教室を順次再開し栄養士による啓蒙活動の実施 ○健康まつり等における栄養指導・食育推進の啓蒙実施	健康管理センター
		済生会加須病院	○コロナ禍での食育セミナー開催中止による不参加。	○食育等の推進活動に対して、依頼があれば参加していく。	栄養科
		蓮田病院	ホームページ上での動画配信は実現までの計画の見通しが出来なかった	蓮田市やさしさいきいきフェスティバルへの参加 骨密度測定、栄養相談の実施 ホームページで栄養関連の認定、専門資格の掲示、周知 パンフレットコーナーの設置 栄養通信の発行	栄養科
		蓮田よつば病院	○認知症サポーター養成講座を蓮田市内小・中学校にて実施	○認知症サポーター養成講座を蓮田市内小・中学校にて実施	栄養科
白岡中央総合病院	○小児科受診した食生活の見直しが必要な児童および母親に対する栄養指導	○小児科受診した食生活の見直しが必要な児童および母親に対する栄養指導	栄養科		

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育等の推進	羽生市食生活改善推進員協議会	○親子お魚クッキング教室の実施→中止 ○親子おやつ作り教室の実施→中止 ○こども郷土料理体験教室 →中止 ○乳幼児健診時にレシピ本配布（110名）	○ファミリークッキング教室の開催（親子向け）	健康づくり推進課
		幸手市食生活改善推進員協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催。今年度は感染対策を取りながら3年ぶりに調理実習を実施した。 （夏休み：2回、10組25名参加、冬休み：2回10組25名参加）	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催	健康増進課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○公民館事業として、親子を対象としたクリスマス料理教室 参加者 9名	○公民館事業として、料理教室を開催予定	社会教育課 健康支援課

第7次地域保健医療計画の令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画調査票

5 親と子の保健対策

（目標）

- ・ 親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会を目指します。
- ・ 不妊・不育症に関する支援を進めます。
- ・ 乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎ、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
- ・ 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署	
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事	
		行田市医師会	市内産婦人科で行った	市内の産婦人科で行う。	会長	
		行田中央総合病院	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	外来 (産婦人科)	
		羽生総合病院	○概ね実施できた。	○産婦人科を受診しやすい環境作りの為、院内掲示を掲載を継続し、サポートセンターなどで相談される際にも個室で相談に乗る等、利用する人にとってより良い環境で来院出来るように、また他の医療機関を紹介する際にはスムーズに照会できるように医療機関との連携を図っていった。	産婦人科・サポートセンター	
		山王クリニック	概ね実施できた。	不妊診療の実施	産婦人科	
	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実		北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
			行田市医師会	校医が担当した。	校医が担当。	会長
			行田市 歯科医師会	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	会員
			幸手薬剤師会	学校薬剤師が薬物乱用防止教室講演	学校薬剤師が薬物乱用防止教室開催参加	会長
			行田中央総合病院	○小中学校における「命の授業」の実施、職員の派遣	○小中学校における「命の授業」の実施	産婦人科
			羽生総合病院	○概ね実施できた。	○小児科より対象者の方へ院内公認心理士によるカウンセリングへの紹介の推進を継続できた。	小児科・公認心理士
			白岡中央総合病院	○受診時になどに、育児に関する不安・疑問について、適宜相談を行った。 ○希望者に対する健康診断の実施	○育児の不安や疑問の解消（スキンケア等の乳児のお世話の仕方など） ○乳幼児健診希望者への健康診断の実施	小児科

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	土屋小児病院	計画通り実施した。	○臨床心理士によるカウンセリングの実施 ○病児保育による育児支援 ○発達障害児の診療や心理相談、小児神経外来等の専門外来の充実 ○こどもの心の健康に関する情報提供を行う ○地域連携の勉強会を実施する	臨床心理士 病児保育室 外来
		加須市 母子愛育連合会	○訪問による地域の子育て世代や高齢者への声かけや見守り 372件 ○三世代交流会の開催 2回 ○子育て支援(七夕まつり・クリスマス会など) 9回 ○愛育だよりによる健康情報の提供 9回	○訪問による地域の子育て世代や高齢者への声かけや見守り ○三世代交流会の開催 ○子育て支援(七夕まつり・クリスマス会など) ○愛育だよりによる健康情報の提供	すくすく子育て相談室
	関係機関の連携強化による子育て支援	北埼玉医師会	コロナウイルスの影響で協議会は中止になったが、ほぼ計画通り実施できた。	○児童虐待の防止が一番の課題である。当医師会会長は約15年にわたり加須市要保護児童対策協議会の構成機関の中核として児童虐待に関する助言・指導を行ってきた。関係機関と更に一層の連携を計る。 ○当医師会立訪問看護ステーションは医療的ケア小児に対し、関係機関と連携し引き続き質の高い看護サービスを提供する。	会長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実	
		幸手薬剤師会	コロナ禍のため中止	子育て支援まつりへの参加	会長
		羽生総合病院	計画通り実施した。	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続できた。 ○コロナワクチン接種会場として機能できた。	小児科
		土屋小児病院	発達障害児支援のため久喜市との勉強会の開催	○発達障害児支援のため久喜市との勉強会の開催	発達障害外来
		白岡中央総合病院	○各種予防接種の実施	○小児予防接種の充実	小児科
		山王クリニック 山王ドーム クリニック	養育支援連絡票を用いて、地域との連携を実施した。乳児検診、予防接種の際、声かけ、計測などのフォローアップを行った。	○妊娠中から出産後まで、地域と連携し子育て支援を行う。 ○小児の予防接種実施、育児相談(来院、電話)の実施を継続する。	
		羽生市 母子愛育会 連合会	○家庭訪問にて母子(108件)へ声かけ、赤ちゃん誕生訪問(133件)の実施。 ○研修会の開催。 ○各支部において母子で参加できるイベントの開催(ベビーマッサージ教室・おやつ作り教室・ハロウィン仮装パレード・クリスマス会・親子グランドゴルフ大会等)	○家庭訪問にて母子への声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施 ○各支部で母子で参加できるイベントの開催 ○研修会の開催	健康づくり 推進課
		久喜市 母子愛育連合会	○保健事業への協力(5回、9人) (離乳食のすすめ方教室、ママパパ教室)研修兼協力事業 ○子育て支援イベント おやこ縁日(1回、13人) ○小学校「子育て体験学習」赤ちゃんとおそぼ(2回 40人)	○子育て支援イベントの開催(おやこ縁日) ○小学校の子育て体験学習「赤ちゃんとおそぼ」協力 ○子育て応援講座 ○栗橋やさしさ・ときめき祭り	中央保健 センター
		蓮田市 母子愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け運動(年4回延581回)※新型コロナウイルス対策のため訪問を電話に変更している。 ○各地域において母子で参加できるイベント(測定会、茶話会、七夕、ハロウィン、クリスマス会等)の開催(年15回延279名参加) ○子育てフェスタ等への参加 ○研修会の開催※令和4年度は新型コロナウイルス対策のため未実施。 ○連絡員全員が母子保健推進員の委嘱を受けて活動	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け運動 ○各地区での母子で参加できるイベント(測定会、茶話会、七夕、ハロウィン、クリスマス会等)の開催 ○子育てミニフェスタ等への参加 ○研修会の開催 ○地域子育て支援拠点との連携 ○子育てコンシェルジュとの連携	子ども支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携強化による子育て支援	幸手市 母子愛育会	○地域の小学校に出向き、「命の大切さ事業」を実施（計9回） ○母子への見守り・声かけ活動 ○おもちゃ作り活動	○研修会の参加 ○母子への見守り・声掛け活動 ○保育ボランティア（検診等事業時の育児協力） ○いのちの大切さ事業（市内の小学生を対象に、助産師の講話及び赤ちゃん人形を用いた育児体験の実施）	健康増進課
		白岡市 母子愛育会	○保健センターの保健事業に協力：乳幼児健診、乳がん子宮がん検診 ○幼児教室の実行委員による制作キット作り（クリスマス 50セット：乳幼児健診で配布） ○赤ちゃん広場（手形）子ども83人参加 班員22人：健康まつりに参加して実施 ○幼児教室（七夕）7組参加 協力班員15人（お月見）10組参加 協力班員19人（クリスマス会）7組参加 協力班員13人（節分）3組参加 協力班員14人 ○行政への事業協力（託児4回、班員12名）	○保健事業に協力：乳幼児健診、乳がん子宮がん検診 ○幼児教室等の開催（七夕・お月見・運動会・節分） ○各地区によるクリスマス会開催 ○赤ちゃん広場実行委員会による乳幼児の手形取り（実施出来ないときは色紙を配布） ○家庭訪問による声かけ運動の実施	子育て支援課
		杉戸町 母子愛育会	○例年、年2回「母と子のつどい」を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、中止 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー189個 ○母子手帳カバー配布 190枚配布 ○保健センター事業への協力 ・ママパパ教室で技術協力（沐浴実習） 3回	○年2回 母と子のつどいを開催 ○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布 ○保健センター事業への協力 ・ママパパ教室で技術協力（沐浴実習）	健康支援課
	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○加須市からの委託事業として、当医師会員による母親向けの出前講座「子供の急病時の対応」を引き続き年4回開催する。適正受診に寄与することを期待する。	理事
		行田中央総合病院	○院内において適正使用についての呼びかけを行う。	○院内において適正使用についての呼びかけを行う。	外来
		行田総合病院	○計画通り祝日の月曜・金曜の日中、月曜・金曜の夜間、第2・第4土曜の夜間にて小児外来診療および小児救急診療体制を維持し、実施した。	○小児救急医療支援事業への継続的参加	救急部門 医師
		羽生総合病院	計画通り実施した。	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続できた。	小児科
		済生会加須病院	計画通り実施した。	○土日祝の9:00~10:00は小児科医を配置 ○看護師による電話相談・トリアージの実施 ○小児救急支援事業へ輪番病院として参加	診療統括部
		土屋小児病院	計画通り実施した	○電話相談・トリアージの実施 ○久喜市休日夜間診療所の依頼による支援事業の実施 ○小児2次救急輪番の実施	外来
		蓮田病院	※ポスターによる子供医療電話相談事業（#8000）の情報提供。 ※会計窓口にカードサイズの#7199埼玉県電話相談の配布	※掲示物、配布物による情報提供の継続	経営企画室
白岡中央総合病院	○受診時の案内やポスター掲示により情報提供を行った。	○埼玉県救急電話相談（#7119）、こどもの救急「#8000」の案内を行い、休日・夜間における適正な小児科受診の啓発を行う。	小児科		
栗橋病院	○こどもの救急#8000の掲示と電話対応による案内を実施	○こどもの救急#8000の掲示と電話対応による案内を継続	医療連携室		

第7次地域保健医療計画の令和4年度取組実績及び令和5年度実施計画調査票

6 新型コロナウイルス感染症対策

（目標）

・これまでの経験を活かし、感染拡大を未然に防ぐとともに、感染拡大の予兆があった場合には、被害を最小限に食い止められるよう、相談、診療・検査、医療・療養の体制づくりを進めます。

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	新型コロナウイルス感染症対策の強化	北埼玉医師会	計画通り実施した。	診療検査医療機関がコロナのプライマリーケアを行う。	理事
		行田市医師会	現状ではPCRセンターを中心として診療検査医療機関にて1次医療を行い、各医療機関でワクチンを勧めていく	診療検査医療機関にて1次医療を行い、各医療機関でワクチンを勧めていく	会長
		南埼玉郡市医師会	埼玉県からの委託によるPCR検査センターを会員医療機関3箇所に再委託して実施した。 診療・検査医療機関の拡大に努め、発熱患者の受入れの円滑化を図った。 県からの委託による相談センターを会員医療機関に再委託することにより継続実施した。	令和5年5月8日以降の5類感染症移行後においても管内医療機関においてワクチン接種、医療提供体制の整備を継続実施。	会長
		北葛北部医師会		○地域PCR検査センターの運営	会長
		行田市歯科医師会	歯科健診時のフェイスガード、マスク、グローブの着用、及び手指の消毒の徹底	歯科健診時のフェイスガード、マスク、グローブの着用、及び手指の消毒の徹底	
		加須市歯科医師会	発熱患者については、一般診療の患者と時間帯を区分して診療。医院スタッフの抗原検査の強化 院内清掃・消毒の強化	発熱患者については、一般診療の患者と時間帯を区分して診療。医院スタッフの抗原検査の強化 院内清掃・消毒の強化	
		羽生市薬剤師会	学校薬剤師による抗原検査キットの使用方法的十分な説明。 患者さんへの感染症予防の啓発。	薬局での抗原検査キットの使用方法的十分な説明。 学校薬剤師による学校で感染対策チェックの徹底。	理事
		幸手薬剤師会		新型コロナウイルス感染予防及びクラスター対策の薬局内情報発信を実施	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	関係機関と連携し、体制整備。 感染防止対策の普及・啓発やワクチン接種などの実施により、感染防止策を推進。	関係機関と連携し、体制整備。 感染防止対策の普及・啓発やワクチン接種などの実施により、感染防止策を推進。抗原検査キットの使用方法的十分な説明、販売	
		行田総合病院	○専用の病棟を設置し、新型コロナウイルス感染症の入院患者を受入した。 ○新型コロナウイルス感染症ワクチンの個別接種へ協力した。	○新型コロナウイルス感染症の入院患者の受け入れを継続する。 ○新型コロナウイルス感染症ワクチンの個別接種への協力を継続する。	医師 看護部
		羽生総合病院	○発熱外来・PCRセンター運地域の方の健康貢献できた。 ○地域のコロナウイルスワクチン接種会場として運営できている。 ○コロナ患者入院患者の受け入れを積極的に行えた。	○発熱外来・PCRセンター運地域の方の健康管理へ貢献する。 ○地域のコロナウイルスワクチン接種会場として運営する。 ○コロナ患者入院患者の受け入れを積極的に行う。	全部署
		行田中央総合病院	○地域相談センター相談件数 1,054件 ○新型コロナワクチン接種実施件数 32,407件 ○コロナ検査件数 7,404件	○新型コロナワクチン個別接種会場として接種実施 ○診療・検査医療機関として診療の実施	地域連携室 外来 医師

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	新型コロナウイルス感染症対策の強化	済生会加須病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19入院受け入れ：404名</li> <li>COVID-19外来受け入れ（発熱外来のみ）：2909名</li> <li>地域連携カンファレンス開催：4回</li> <li>他施設のCOVID-19クラスター支援：8件</li> <li>他施設の研修支援：7件</li> <li>他施設からのコンサルテーション対応：32件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療提供体制の整備（5類移行後は一般病棟・一般外来で対応）</li> <li>職員への啓発（研修・情報提供等）</li> <li>地域の感染対策推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策向上地域連携カンファレンスの開催</li> <li>連携医療機関のラウンド・研修</li> <li>保健所との連携活動（研修会の講師・COVMAT支援等）</li> <li>COVMAT（クラスター支援）やコンサルテーション対応等</li> </ul> </li> </ul>	感染対策室
		医療法人社団 弘人会中田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来玄関の集約化、検温、手指消毒、検温後有熱者は発熱外来にて対応。発熱者は電話にて受付。対応は発熱外来にて。</li> <li>陽性者については必要性に応じて届け出を行う。</li> <li>有症状者への投薬（コロナ対応等を含めて）</li> <li>病棟への御家族及び一般者の面会等の制限</li> <li>職員の定期的な抗原検査の実施</li> <li>救急入院を要する患者へのPCR検査施行、及び一定期間の個室対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来玄関の集約化、検温、手指消毒、検温後有熱者は発熱外来にて対応。発熱者は電話にて受付。対応は発熱外来にて。</li> <li>有症状者への投薬（コロナ対応等を含めて）</li> <li>病棟への御家族及び一般者の面会等の制限</li> <li>救急入院を要する患者へのPCR検査施行、及び一定期間の個室対応</li> </ul>	受付・外来 " " 外来 病棟 検査課 病棟
		国立病院機構 東埼玉病院	新型コロナウイルス感染症患者受入れに係る重点医療機関として埼玉県調整本部の依頼に基づき新型コロナウイルス患者の受け入れを行った。	新型コロナウイルス感染症患者受入れに係る重点医療機関として埼玉県調整本部の依頼に基づき新型コロナウイルス患者の受け入れを行う。	医事
		新久喜総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>要請に伴う施設等へのCOBMA T派遣</li> <li>専用病棟による新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受け入れ実施</li> <li>職員への感染対策に対する行動指針を随時周知</li> <li>「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を随時開催し院内感染対策、専用病床の運用を検討し問題解決を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県からの要請に伴うCOVMATへの協力</li> <li>5類移行後の受け入れ態勢の整備</li> <li>職員への感染対策の勉強会・研修の実施継続</li> </ul>	感染対策課
		白岡中央総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症患者に対する診療・検査医療機関の継続及び患者受入実施</li> <li>新型コロナウイルス予防接種事業実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症患者の受け入れと院内感染対策の徹底</li> <li>新型コロナウイルス予防接種事業の継続</li> </ul>	感染管理課 経営企画課
		蓮田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID19感染症における感染症法移行後の対応等、地域の近隣施設とのカンファレンスを実施しながら、検査及び入院患者の対応や面会規制緩和等を施設内に反映させた。</li> <li>発熱外来の検査体制の維持に努め、当日結果判定及びパンフレットを用いた生活指導等を、対象全ての患者に実施した。</li> <li>退院基準を満たした患者の依頼受入れを全て受入れたことに加え、2023年9月1日よりCOVID19感染症陽性者の受入れを開始した。</li> <li>近隣福祉施設からのコンサルテーションの対応を実施。またコロナ対策チーム（COVMAT）として福祉施設や療養型医療施設などにおけるCOVID19集団発生の介入を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の通知及び方針に沿った感染症対策等を適時、組織の体制へ反映させ、保健所等と連携を図りながら、施設内や地域への対応を効果的かつ円滑に運営実施する。</li> <li>発熱外来等の検査体制の維持及び、流行期等における市民や施設からの検査を柔軟に受け入れ、生活指導等の継続を維持する。</li> <li>COVID19感染症陽性者の積極的な受け入れ及び、退院基準を満たした患者の受け入れを円滑に実施し、地域の施設との連携を図る。</li> <li>近隣施設からの感染対策におけるコンサルテーションの受け入れや必要時研修、指導等を実施し、適切な日常的対策の維持及び、有事の際の連携及び対策を強化する。</li> </ul>	感染制御室
		新井病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスワクチンの接種の継続</li> <li>発熱外来の継続</li> <li>玄関における検温及び健康チェック</li> <li>院内の感染防止対策の徹底（・外来滞在時間の短縮・アルコール消毒の設置・院内を消毒液で除菌・面会制限・定期的な院内の換気・受付、診察室の飛沫防止）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスワクチンの接種の継続</li> <li>院内の感染防止対策の徹底（アルコール消毒の設置・院内を消毒液で除菌・面会制限・定期的な院内の換気・受付、診察室の飛沫防止）</li> <li>発熱外来の継続及び受け入れ数の増加</li> <li>新型コロナウイルス患者の入院の受け入れ</li> </ul>	多職種
		栗橋病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応できる時間の拡充を目指します。</li> <li>新型コロナウイルス感染予防に関する職員向け勉強会を継続していきます。</li> <li>法令の変更に関して職員教育を心掛けて、患者さんが困らない案内を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応できる時間の拡充を目指します。</li> <li>新型コロナウイルス感染予防に関する職員向け勉強会を継続していきます。</li> <li>法令の変更に関して職員教育を心掛けて、患者さんが困らない案内を目指します。</li> </ul>	事務部

実施主体	主な取組	機関名	令和4年度取組実績	令和5年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	新型コロナウイルス感染症対策の強化	土屋小児病院	ほぼ計画通りに実施できた	院内感染の防止 1) コンシェルジュナースを配置して、一般外来と発熱外来の待合スペースを区別する 2) あらゆる感染症について、院内での感染防止対策を定期的に検討して実施する 3) 感染防御に対する職員教育の継続	関係各部署
		蓮田よつば病院	職員において、出勤時の検温表の実施、抗原検査の無料配布。換気の徹底、職員の手洗い・消毒のこまめな実施を行う。患者様入院時にスクリーニング検査の実施をし、院内感染を防止。また、症状がある場合には院内にてPCR検査にて迅速な対応を行う。コロナ後の受け入れ病院として、近隣病院からの転院相談に迅速に対応する。	職員において、出勤時の検温表の実施、抗原検査の無料配布。換気の徹底、職員の手洗い・消毒のこまめな実施を行う。患者様入院時にスクリーニング検査の実施をし、院内感染を防止。また、症状がある場合には院内にてPCR検査にて迅速な対応を行う。また、PCR検査機の増設。コロナ後の受け入れ病院として、近隣病院からの転院相談に迅速に対応する。感染動向を常に注視し、感染対策について情報共有を行う。	関係各部署 感染対策委員
		蓮田市食生活改善推進員協議会	○密を避けるため総会は本部役員のみ参加し、会員は書面開催とした。 ○施設の利用人数を厳守しながら料理教室等を再開し、原則料理は持ち帰りとした。	○密を避けるため総会は本部役員のみ参加し、会員は書面開催とする。 ○施設の利用人数を厳守しながら料理教室等を実施し、喫食を再開する。	健康増進課
		蓮田市 母子愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け運動は、訪問を電話に変更して実施した。 ○イベントでは、手指の消毒を行い、人数制限をし、密にならないよう注意して実施した。	○引き続き、妊産婦乳幼児の家庭への声掛け運動は、訪問を電話に変更して実施している。 ○感染状況を確認し、人数制限を検討することもある。	子ども支援課